

## 咳エチケットについて

高齢者施設は利用者が高齢であるため、感染症に罹患した場合、重症化する傾向にあります。そのため日常的に感染症への備えが重要です。利用者が感染症に罹患すると、利用者本人が苦しむだけでなく、感染対応や家族対応、入院支援など通常業務以外の業務が増えることにより、職員の負担が増大します。職員から利用者に感染症が広まることを予防するために以下の咳エチケットを守って行動してください。

咳エチケットをしっかりと守られていることを前提にして、就業中のマスクの着用について、個人の判断にゆだねることとします。咳エチケットがしっかりと守られていない職員がいた場合は、マスク着用を求めることがあります。

なお、新型コロナウイルス感染症の発生以後、高齢者施設ではマスクの着用が推奨されていることを念のため申し伝えます。

- ・くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスなど含まれている可能性があるため、マスクを着用します。
- ・マスクを着用しない人は、くしゃみや咳をするときにはティッシュなどで鼻と口を覆います。
- ・とっさのくしゃみや咳の時は、袖や上着の内側で覆います。
- ・くしゃみや咳が出そうなときは、周囲の人からなるべく離れます。
- ・咳エチケットのほか日常的に手洗いを実施し感染予防に努めます。また感染症マニュアルを理解し、感染症マニュアルを守って行動します。
- ・施設内で感染症が発生した場合、職員に対してマスク着用を求めることがあります。
- ・念のため、被服費でマスクを購入することをお勧めします。